

## <最優秀賞 최우수상>

### 今だからこそ伝えたいこと

秋山 咲貴\*

私は、今だからこそ日本と韓国の同世代のみんなに伝えたいことについてお話をします。それは、「言葉の素晴らしさ」ということについて、そして、私が語学を通して体験した不思議な出会いについてのお話です。

今年の夏休みが終わりに近づいたある日曜日、私は太宰府のいつもの教会で礼拝を行い、その帰りに太宰府駅発の天神行き電車で一人座っていました。私の少し後から、韓国人の男女2人が、私の真向かいの座席に乗ってきました。しばらくすると、男性の方が私に、たどたどしい日本語で何かを尋ねてきました。私は、うまく聞き取ることができなかったのですが、たぶん電車の行き先について聞いてきたのだと思い、韓国語で「この電車は天神行きですよ」と返したところ、相手の方は私を韓国人だと間違えて、「あ、韓国人だったんですね！」と言ってきました。それで、私が日本人だと伝えたところ、それがきっかけとなって話が広がり、「どうして韓国語が話せるんですか？」「韓国が好きですか？」など、他にも色々な質問を投げかけてきました。私も「観光で来たんですか？」「福岡は楽しいですか？」などと、お互い沢山の質問をかわしあい、電車の中で韓国語での会話がはずみました。そして、相手の方々が、「韓国へは、来る予定がありますか？」と聞いてきたのです。

私は、「はい、9月末に韓国に留学中の姉に会いに行く予定です。」と伝えました。すると、相手の方々が、「このように出会ったのも何かの縁ですし、韓国に来る時は連絡をしてくれたら案内しますよ」と言ってくださいました。最初は、「初めて会って、数分しか話をしていないのに大丈夫かなあ？」と思いましたが、私が少し心配しているのを察して、「私たち悪い人ではありません」と言って、パスポートまで見せてくださったので、とりあえず連絡先を交換することにしました。

その後、韓国に戻られたその方々から、「会えてよかったです」という連絡が届きましたので、私もまた会いたいなあとと思い、韓国へ行く前に連絡をして、9月27日土曜日の夜、そのお二人と私の姉と私と4人で、食事の約束をしました。そして、食事をしながら、私たちが出会った時のことを振り返りました。相手の方も私も、このような出会いは初めてだったので、本当に縁があって私たちは出会ったんだとおっしゃっていました。食事のあと、ソウルで夜景がきれいな場所があるといって連れて行ってくださいました。短い時間でしたが、その夜は素敵な時間を過ごすことができました。

帰国してから、私が、「本当に会えてよかったです。韓国を案内して下さってありがとうございました。もし福岡に来ることがあれば連絡をください。次は私と姉があなた方を案内したいです。」と韓国語でメールを送ったところ、相手の方も「私も会えて楽しかったです。次に福岡に行く時は必ず連絡します。また韓国に来ることがあれば連絡してください！おいしいもの食べに行きましょう」と返事が来て、よりいっそう交流が深まり、また新しい韓国の方と知り合いになれたと感じました。

今から振り返ってみると、私が韓国語を学んでいなかったら、あの電車の中で韓国の方々から何か尋ねられても、対応できなかったと思います。しかし、私が韓国語を学んでいたからこそ、対応することができ、そして、そこからさらに深く交流することができたのだと思います。この不思議な出会いを通して私が感じたことは、「言葉が理解できないと深い国際交流（理解）はできない」ということです。国際交流においては、相手の言葉を学ぶことは相手のことを理解するひとつの重要な手段であり、文化を共有する手段でもあるということを感じました。

いま、日韓の関係は良いとは言い難いのですが、韓国語を勉強し、韓国を理解しようとしている日本人のひとりとして、日本と韓国が、日本人と韓国人が、本当に最良の友人となれる日が来ることを私が切に望んでいることを最後に申し上げたいと思います。

## 日本で感じる韓国文化

大林 優\*

私は学校で第二外国語として、韓国語を学んでいます。一学期に、まだ基本的な事しか習っていませんが、日本と韓国の文化の違いなども学びました。私は、もっと韓国について知りたいと思い、インターネットを使って色々調べてみました。

まず、韓国と日本は同じアジアに位置し、海を挟んでいるとはいえ飛行機で行ったら二時間程でついでしまうくらい近いです。とは言っても外国は外国なので文化の違いはたくさんあります。

しかし、日本では数年前から韓流ブームや K-POP の影響でとても身近に韓国を感じる機会が多くなりました。例えば、駅の案内板や駅名の書いてあるボードを見ると必ず日本語と共に、英語、中国語、そして韓国語が表記されています。

これは広い世界の中でも多くの韓国の方々が日本に滞在、旅行に来ていることを意味していると思います。また、私のクラスで K-POP が好きな子はハングルを読み書きする子がたくさんいます。私は韓国に行ったことはありませんが、逆に韓国でも同じように日本の音楽やマンガなど、様々な文化が浸透しているのではないかと思います。

このように個人的には良好な関係がある一方で、難しい問題を少しとりあげ、歴史的背景、政治などの国レベルのことになると眉をひそめる人も少なくないと思います。

しかし東日本大震災の時、韓国は日本に様々な援助をしてくれました。たくさんの物資、救急隊の派遣、数十億円の義援金、街には「日本の痛みを分かち合おう」などといった横断幕を数多く掲げてくれていたそうです。私はあまり難しいことは言えませんが、個人としてよい関係が築けるのならば、絶対に国レベルで分かち合うことは可能だと思います。

欧米や南米は基本的に個人主義なので相手のことより自分のことを優先します。ですが韓国や日本は相手を優先しお互いを尊重し合います。なかでも韓国では電車で高齢者を見かけた若者は必ず席を譲り、また前に立った人の荷物を座っている人が持ってあげるそうです。日本人には、譲りたい気持ちはあってもなかなか行動に移すことのできない人はたくさんいると思います。

私もそのうちの一人です。こういった面で、韓国の方にはとても心が温かく、見習うべきところがたくさんあることがわかりました。

このように、おたがいの素晴らしい文化を理解し、尊重し合いながら、より良好な関係を築くべきだと思います。

## 私が感じた韓国、韓国人

土屋 芽\*

私が人生で出会ってきた韓国人の多くが共通して強く持っているものがある。それはまさに、自我だ。自分の意見や考え、好き嫌い、感情や生き方を強く持っている。そしてそれを隠さないところが特徴だと私は思うのだ。私の韓国語の先生は、自分の嫌いなものをはっきりと行動に表わす。電車の中で隣に座った男性がタバコ臭いと極端に体を背けるそうだ。すると、その男性は席を立ち去ったという。又、私の日本に住んでいる韓国人の友達は感情表現がとにかくすごい。私の中で一番印象に残っているのは、修学旅行で沖縄に行った時のことだ。グループごとにその日1日の学習報告をするのだが、その韓国人の友達は地本の人から聞いた戦争の話や学年全体の前で泣きながら熱心に語った。その友達は、その後先生に褒められていた。日本人にはなかなかない、韓国人の自我の表現がいかなるものか、語ろうと思う。

私から見る日本人は、自分が本当に思っていることをはっきり言葉にするのが苦手である。本当はこう言いた池津、言える勇気がない。本当は断りたいのに断れない。日常生活の中で日本人の子の特徴を目にあたりにすることは多々ある。一方で私の韓国人の友達は、クラスで話し合いをしているときでも自分の意見を曲げることなく強く主張するし、何か頼みごとをしても「面倒だから嫌いだ」と断ってくる。ときには少し言葉がきつく感じられても、正直に言ってもらいたいこともある。だからその正直な自分の意見をまんま相手に伝える事が出来るのは韓国人の強みだと思う。自分の考えだけでは視野が限られている。そんな時、たとえ自分の考えを批判するような意見であっても自分にはない視点から物事を言ってもらいたいものである。

また、私から見る日本人の多くは感情表現が苦手のようなのだ。本当は嬉しくて、ハグしたいのにできない。本当はもっと素直に楽しみたいけどできない。一方、私の韓国語の先生は、冬場寒いと何もためらうことなく政党に抱き着いてくるし、感情がいつも表情に表れてわかりやすい。私がアメリカに住んでいるときの韓国人の友達は、毎朝「おはよう！」とハグしに来てくれ、私が日本に帰国する日は全員が泣いて悲しんでくれた。素直に感情が表に出ると、周りとしてはとても分かりやすいし、接しやすい。又、相手が素直に喜んでくれてるのがわかると自分まで嬉しくなる。感情表現の豊かさは、人との付き合いの中で大刹那エレメントの1つだと思う。そんなエレメントを韓国人は持っていると感じるのだ。

韓国人の持つ自我の表現力は、周りの人に影響を与える。それは、新たな視点から未体験であったり、感情を表した行動であったりと様々だ。私が感じる韓国人のいいなと思える自我の表現力を私自身が身に付けていきたいと思う。

## 私が感じた韓国

夏見 映里\*

私はもともと韓国と言う国に対して悪い印象はほとんど持っていなかった。周りで時々話題に上がる韓国に対する批判的な話にもあまり耳を向けなかった。理由はおそらく祖父が昔いたという韓国人の親友の話をお孫のころに話してくれていたからだと思う。だがここ最近韓国と日本の政治的執があらゆるところで浮き彫りとなり、何かにつけて日韓の仲の悪さを理由にしている気がする。だからこそ私は実際に韓国兵器確かめたいと思った。韓国の人はどういう人々なのか、韓国の自分と同世代の人たちはどう思っているのか。同時に今の韓国がどうなっているのかも知りたいと思った。

ちょうどそのころ日韓高校生交流事業への参加の話が舞い込んできた。日本全国で1団体27人ほどが日本の高校生代表として韓国に1週間ほど行く事が出来るというものだ。私はその交流事業に参加できることになった。全国から集まった高校生は皆韓国が好きで友達が出来るか、化粧品が帰るかなどとても楽しみにしていた。市榎原氏が参加した団体にはテーマがある。それは「平和」。

このテーマの中には日韓の関係、さらには北朝鮮と韓国との事柄についても含まれており、韓国での日程の中には韓国と北朝鮮の境界線である非武装地帯(DMZ)及び軍事境界線、38度線の見学が大きな要の1つとなっていた。私がまずそこに行って感じたことは今まで自分が感じていた韓国とは違うものがあるということだ。こんなにも身近に戦争と言う文字を思い浮かべたことはなかった。

韓国ドラマやアイドルなどの華やかな場面の裏に隣国の日本では感じる事の出来ない鬼気迫る雰囲気、圧迫されたのを覚えている。実際韓国にこの様なところがあると思わなかった。華やかな表の部分の後ろに抱得る大きな何かを見た気がした。同時にこのことはもっと深く知るべきだと感じた。その他には韓国の高校生との交流があった。韓国の高校に出向くということで日本人の私たちがどのように受け入れてくれるのか不安だった。

しかしそんな不安をよそに私たちがバスから降りると窓から大勢の政党が顔を出し、手を振り出迎えてくれた。その後も校内ですれ違う人々は手を振ってくれたり、写真を撮ってほしいと言ってくれたりとてもフレンドリーで積極的だった。見習う面が多くあった。少なくともあの空間にはニュースで流れているような日韓の溝は全くなかった。ここで感じた韓国は情に熱くどことなく懐かしさを感じた。今でもその時知り合った韓国の友達と連絡を取っている。私はこのつながりを絶やさない。今まで想像していたものとは違う一面がある韓国、だが私は日本とは違う暖かさを感じにまた韓国へ行きたいと思った。

## <佳作 力作>

# 今だからこそ韓国と日本の同世代のみんなに伝えたいこと

北村 祥\*

理性と言葉は、人間に与えられた最大の宝田。この2つをもってすれば、人類が抱得るどんな問題でも解決する事は可能だと、私は信じている。

2012年の夏、韓国の前大統領が竹島(韓国名、独島)に上陸した。当時アメリカに住んでいた私は日本人やアメリカ人よりも、韓国人の友達の方が多くいた。一番仲の良かった友達も韓国人だった。だが、あの夏を境に、彼らとは意思疎通が難しくなった。と言うより、出来なく買ってしまった。言葉でもない、人類でもない、私一人の力では到底越えられない壁が一瞬にして出来てしまったのだ。私はとうとう、その壁を越えられることなく日本に帰国して彼らと別れた。

悔しくて、悔しくて、涙も出ない。私の世界がなぜ自分が生まれる前の過去のしがらみと、政治的混乱の為に壊されなければならないのだ。なぜ私が、先人たちが撤いた種によって苦しめられなければならないのだ。こう思っている人は、私一人ではないだろう。その時に私を救ってくれたのが、「理性」という言葉だった。

理性と言葉、これら2つは仁言しか持っていないものだ。人間には野蛮で救いようがないほど愚かな面がある。だがその反面、理性を持って感情を迎え、歩み寄るという可能性も持っている。人間は理性を持つ動物だ。そして、言葉を話す動物だ。理性を何十二も重ねあわせ、言葉による話し合いを続けていくことが、異民族の理解への一番の近道になるはずだ。

理性という言葉のおかげで、私は韓日の間で板挟みされた、自分のやりきれない感情の持っていく場所を見つける事が出来た。それは、言葉を尽くす対話だ。

現在の国際情勢は密接に絡み合っている。お互い話し合う機会をたくさん設けなければ、問題は解決するどころか進展すらしない。誰もがわかっているはずの事なのに、お互い歩み寄る余地がない。残念ながら、これが今の韓日の関係だ。

だから今、韓日の同世代に留まらず、全世代の人々に伝えたい。人間が理性を持った、他の生き物よりも発達した意思伝達能力を持った生き物である。苦しくてたまらないほど理性の重ねあいを強いられても、我々人類はどんなもの事でも言葉によって解決する方法を知っているはずだ。

最後にこれを、国を動かす韓日の政治家たちに言いたい。歴史認識や領土問題で散々こじれたお互いの関係のせいで、どれだけ多くの韓国人、日本人が傷つき、今も切れない思いをしているか。問題には必ず答えがある。だから、お互い誠実に、りつえいを持って言葉を尽くして話し合ってほしい。

それが、次の一步を踏み出す出発点になると私は信じているから。

## <佳作 가작>

### 韓国の孫先生へ

清水 友理\*

先生との出会いは、私が高校1年の時でした。「KPOPが流行っているから」という単純な理由で、第二外国語として韓国語を選択した私は、実は韓国語の事が全く知らず、とても不安でした。高校課程が上がってカリキュラムも変わる中、何をやってもうまくいかない気がしていた私は、実は自信を失いかけていました。実際、授業がスタートした当初、わからないことが多く不安でしたが、バッチムをうまく発音できなかった私に対し、先生は休み時間や硬化後まで、何度もやさしく指導してくださいました。中でも、苺と言う意味の「딸기」が一番難しかった覚えがあります。繰り返し練習し、「딸기」をうまく発音できた時に、先生が自分の事のように喜んでくださったことは今でも忘れません。先生のおかげで、韓国語は最も楽しみな科目になりました。発音や文字の書き取りが少しずつ出来るようになるたびに先生が喜んでくださることで、どんどん「やる気」がわいてきました。そのうち近所の韓国語の看板や簡単な分も読めるようになり、外国語を学ぶとはこういうことなのかと、それだけでも楽しくて仕方がありませんでした。先生とのかかわりを通じ、韓国と言う国、そして文化にも魅力を感じるようになりました。例えば、韓国の若者たちが使う言葉や韓国のドラマの背景等を伺うことで、韓国の皆さんの日頃の生活や心の優しさなどを垣間見る事が出来、他の授業では味わえない楽しさがありました。

第二外国語の授業が高校2年まででしたが、ぜひまた先生の授業を受けたいと心から願っています。先日、先生に廊下でお会いした時、「体調崩したら意味ないんだよ。あまり頑張りすぎないでね。」と、優しい言葉をかけてくださいましたね。あのときの、私は思わず涙がこぼれそうになりました。その言葉のおかげで、韓国語の授業で褒められた時のように「やる気」が漲り、全力で受験勉強に向かうことが出来ています。それと同時に、韓国語を学べる大学に進学して、韓国についてさらに多くの事を学び、韓国の友達をたくさん作って交流し、韓国の素敵なおところを見つけていきたいと思っています。そして将来、先生が私たちに韓国語や韓国の文化を優しく楽しく教えてくださったように、自分も韓国で日本語や日本の文化を伝える仕事に就き、韓国と日本をつなぐ懸け橋となる存在になりたいと願っています。

先生は、私が韓国に興味を持つきっかけや、当時何をやってもうまくいかなかった私に変えるきっかけを作ってくれた、私にとってかけがえのない存在です。優しく素敵なお心を持っていらっしゃる先生と出会えたからこそ、今の私があるのだと思います。

韓国語の授業を通じた先生とのかかわりは2年間と言う短い間でしたが、私にとってこの2年間は現在の渡し、そして将来の夢を思い描く事が出来た、とても大雪で忠実な時間でした。先生への感謝の気持ちは、「有難う」と言う言葉では伝えきれないほどですが、心をこめて、정말 감사합니다!

## <佳作 佳作>

### 僕と韓国

三幣 晴\*

僕は韓国が大好きです。韓国を好きになったきっかけは、僕が中学三年生のころ。何となくテレビを見ていました。すると、ある歌手のCMが流れたのです。K-POPのアイドルグループBIGBANGでした。僕は、BIGBANGの音楽、ルックスにとっても大きな衝撃を覚えました。この出来事が韓国を好きになる、第一歩でした。

月日は流れ、僕は高校生となりました。僕が入学した高校、それが千葉国際高等学校です。千葉国際に入学した理由は、韓国の事がとても関係しています。末一つ目、千葉国際には韓国語の授業がある。それがとても魅力的でした。BIGBANGの曲を聴いて思ったことが、韓国語で曲を歌えるようになりたい、そう感じていました。だから、高校の授業で勉強できるなんて夢のようでした。

そして二つ目、千葉国際には、国際交流の出来る、寮があることです。寮にはいろいろな国の留学生がおり、韓国から来た有学生もいました。僕は同学年の韓国人に迷わず声をかけました。今ではその留学生ととても仲がいです。いつか、その友達の家遊びに行きたいとまで話しています。そのような理由から、千葉国際に入学したといっても過言ではありません。

僕は2年生となり、外国語の授業で韓国語を選択しました。そして、韓国語を学び、韓国人と触れ合い、以て韓国について知りたいと思いました。日本と韓国はとても近い国です。これからの未来、国際化が進みもっともお互いの国が協力しなければならないと思います。竹島問題など、国と国が対立してしまう面もあります。そのような所だけで国同士を見てしまうと良い印象ではないと思います。しかし、韓国を好きになったきっかけのように、音楽や食文化など、通じ合える部分もたくさんあると思います。そのような点を、もっと伸ばし、お互いがお互いの国を知ることがとても大事だと思いました。

僕は韓国が大好きです。もっともっと韓国を知りたいし、なにより、多くの日本人に韓国の良い所を知ってほしいです。そして勧告を好きになってくれる人が増えてくれたら本当に嬉しいです。日本と韓国がもっと親しい国になればと、心から願っています。

## <佳作 力作>

### 今だからこそ韓国と日本の同世代のみんなに伝えたいこと

足立 結\*

私のお母さんは、在日韓国人です。お父さんが日本人で、私自身はいわゆる日韓の間の子。ハーフです。私が羽 ^ 不だと気付いてのは何と中学2年生のころでした。それまでは韓国側の親戚で行う行事も日本の文化だと思っていたので、気づかなかったのです。なぜ気づかなかったのか。やはり日本と韓国の文化にさほど違いが無く、似ているからでしょう。

私が中学生のころ、韓国の歌手を好きになりました。自分化ハーフなんだと気付く前に好きになったので、ハーフだと知った時は同じ血が流れているんだと思い、とてもうれしく思い韓国語の歌を覚えたり、興味を持った韓国のドラマを見たりと韓国の文化に触れていたそんなある日、あるサイトを見つけました。

そのサイトには、反韓、反日のことが載っていました。私はそれまで小学校、中学校でもそのようなことが習っていなかったもので、とても驚き、記事を読んで空地に悲しくなり、なにがなんだかわからなくなりました。私に流れている二つの血が、お互いを嫌っているだなんて。とてもショックで泣いてしまったほどです。

それと同時に、私の両親の間で何かなかったのかとても不安になりました。ショックを受けると分かりつつも、やはり自分の国の事なのでこれまでの日本、韓国のお互いの歴史、政治の事について少し勉強をしました。なぜ、こうなってしまったのでしょうか。真相は、この時代に生きる私には、やはりわかりません。でもひとつ私は思いました。いつまで引きずるつもりだと。日本も日本で過去に過ちを犯し、韓国も韓国で、いまだ根に持つ部分がある。

2014年、平和な両国の血が入っている私にだからこそできるのかもしれませんが。良いところ、悪い所。そんなもの生きている私たちと同じで、それが反映されているからこそ容易所も悪い所も重ね備えた各国が存在しているのです。母国、自国を愛する事は、とてもよいことです。ですが、他国を愛そうとすることで自国の良さと直すべきところが見えるはずなのです。なぜ、お互いに目隠しをし、いまだ避けあうのでしょうか。政治家が行っていることなど耳にしたところで良い影響はありません。相手の国の人を自分の目で見て感じようとしなない人が、悪口を言うのはおかしいです。

国全体ではない。人間1人を見てください。見ようとしなない限り、相手のことなどわからない。ならば、見ようとしなない限りお互いの国の事など理解できるはずがないのです。いつか、国のいざいざがなくなり、国では無く、人を愛せる若者に溢れる国になることを祈ります。韓国、日本の同世代へ。私はあなたたちを誇りに思っています。